

## 主要農作物品種審査会（令和8年2月16日開催）会議録

1 日時 令和8年2月16日（月） 午後2時から午後4時まで

2 場所 JAビル宮城 6階 特別会議室

3 出席者

（1）委員8名

本間香貴、佐々木利幸、守屋明良、大川亘、鳥羽太陽、高橋清範、石川宣子、千葉啓嗣

（2）幹事5名

關口道、都築寛明、菅野千秋、滝澤浩幸、小高勝範

4 傍聴人 なし

5 会議録

（午後2時開始）

○事務局（佐藤）

ただ今より、主要農作物品種審査会を開催します。本間会長より挨拶をお願いします。

○本間会長

本日は、御多忙中にもかかわらず、主要農作物品種審査会に御出席いただき、厚くお礼申し上げます。今回の主要農作物品種審査会では、優良品種に指定する品種はございませんので「次年度の優良品種決定調査に供する稲・大豆の系統」及び「水稻優良品種「つや姫」の特定品種から基幹品種への移行」について御審議いただきます。水稻及び大豆の優れた品種を選定・普及することは生産振興の根幹であり、当委員会が果たすべき役割は今後ますます重要なものになってくるものと考えております。本日お集まりの皆様には、各審議案について十分に御検討いただき、忌憚のない御意見や御提案をいただきますようお願い申し上げます。開会の挨拶とさせていただきます。それでは、本日はよろしくお願いたします。

○事務局（佐藤）

ありがとうございました。本日御出席いただいております、委員の皆様を御紹介させていただきます。次第の裏面の名簿順に御紹介をいたします。

（出席委員8名を紹介）

本日委員10名中8名に御出席いただいております。主要農作物種子条例第22条第2項の規定により、委員の半数以上が出席しておりますことから、会議が成立しますことを御報告いたします。これより審議に移りますが、これからの進行につきましては、会長に議長を務めていただきたいと思います。

思います。本間会長、よろしくお願いいたします。

○本間会長

本審査会につきましては、「情報公開条例」に基づきまして、公開で開催させていただきますので、御了承願います。次第の次の資料に知事からの諮問文がございますので、御覧願います。

諮問事項は、「(1) 令和8年度優良品種決定調査に供する品種(稲)について」、「(2) 水稻優良品種「つや姫」を特定品種から基幹品種へ移行することについて」、「(3) 令和8年度優良品種決定調査に供する品種(大豆)について」、でございます。本日は、次第のとおり、水稻、大豆の順番で審議していきたいと思っております。

○本間会長

それでは、水稻について、報告事項として「令和7年度水稻優良品種決定調査成績」について、事務局から説明願います。

○滝澤幹事

報告及び審議(1) 水稻 イ報告 「令和7年度水稻優良品種決定調査成績」について説明。

○本間会長

それでは、報告事項について御意見・御質問がありましたら、お願いいたします。

○鳥羽委員

高温登熟耐性に優れた品種の現地調査について、肥料を減らした栽培などでも高温登熟耐性が優れているかどうか分かっていますか。

○滝澤幹事

現地調査は生産者の標準栽培でお願いしています。高温登熟耐性の系統には、特性が絡み合っていて強くなっているものと、高温登熟耐性の遺伝子が入って強くなっているものがあります。遺伝子が入っているものについては栽培環境に影響されず強さが発揮されます。

○本間会長

高温耐性遺伝子が入って強いものと、育成地の情報から判断したものが混ざっているということですね。

○滝澤幹事

はい。環境による影響もあるため総合的に判断しています。補足ですが、資料の東北247号のところに遺伝子がかかれており、pi21は葉いもち、Pb1は穂いもちの抵抗性、Apq1が高温耐性遺伝子です。そのため東北247号は高温に強いです。

○守屋副会長

育成地での試験結果は各県で共有されているのでしょうか。

○滝澤幹事

水稻育種は全国規模で情報が共有化されており、全国のデータベースに登録されるため把握できるシステムになっています。

○石川委員

育成地であまり成績が良くなくても、県の気候や土地柄によって良い品種になる可能性を考えて継続と判断していると捉えてよいのでしょうか。また、見込みがない場合にどれくらいの期間で打ち切りにしていますか。

○滝澤幹事

育成地で成績が良くなくても他県で良い成績で優良品種になる例は結構あります。基本的には3年間で判断しますが、必要があれば少し長く調査することもあります。弱い部分があれば新しい改良版が供試されることがあるので、基本は3年程度です。

○本間会長

それでは、ただ今より、審議に入ります。「令和8年度優良品種決定調査に供する品種（稲）について」、事務局から説明願います。

○滝澤幹事

報告及び審議（1）水稻 口審議 「令和8年度優良品種決定調査に供する品種（稲）について」説明。

○本間会長

審議事項について御質問・御意見がございましたら、お願いいたします。

○本間会長

区分イー（二）については、具体的にどのようなニーズがありますか。

○滝澤幹事

既存の主力品種の置き換えとなるニーズを想定しています。

○本間会長

東北 247 号は高温登熟耐性遺伝子も入っており、注目していると考えて良いのでしょうか。

○滝澤幹事

東北 247 号は、今のところ、古川農試育成の系統の中では、一番高温登熟耐性に優れる系統です。今後は、高温登熟耐性を持つ晩生の系統が試験に入ってくる予定です。

○守屋副会長

業務用に対応する品質のレベルは、白未熟粒の影響を受けないという理解で良いでしょうか。

○滝澤幹事

完全に揃ったものが出てくるというよりは、業務用として使っていただけるレベルの品質をクリアしていれば良く、「ひとめぼれ」などの主力品種のように白未熟粒が何%以下というレベルの品質とは違って、そこまで高い品質を求めなくても良いと考えています。優先順位としては収量性を重視していくような形になります。

○石川委員

低コスト生産というのはどのような考え方ですか。

○滝澤幹事

耐倒伏性が強くて直播ができるものや、いもち病抵抗性が優れるもの、また、肥料の利用効率が高く、少ない肥料でも標準以上に収量が確保できるものも育成されつつあるので、そういった形での低コストと考えています。

○本間会長

それでは、「令和 8 年度優良品種決定調査に供する品種（稲）について」は、原案どおり、適当であるとしてよろしいでしょうか。（賛同の声）

それでは、「令和 8 年度優良品種決定調査に供する品種（稲）について」は、適当であることといたします。

○本間会長

それでは、続いて「水稻優良品種「つや姫」を特定品種から基幹品種へ移行することについて」、事務局から説明願います。

○關口幹事

報告及び審議（1）水稻 口審議 「水稻優良品種「つや姫」を特定品種から基幹品種へ移行することについて」説明。

○本間会長

それでは、審議事項について御質問・御意見がございましたら、お願いいたします。

○高橋委員

「つや姫」を栽培している現場で見ていると、一昨年は良い成績でしたが、昨年は収量や品質があまり良くなかったという声がありました。また、最近「にじのきらめき」という品種が注目されていますが、県の検討状況はどうでしょうか。

○關口幹事

昨年の「つや姫」については、高温や一部地域での渇水の影響があり、複合的な影響で収量や品質が思わしくなかった事例があったかと思っています。現場の情報を収集し今後の対策に生かします。

「にじのきらめき」については、過去に検討しましたが、冷害に弱い弱点があり優良品種の採用は見送りました。現場で作付けが増えている話は伺っていますが、出穂時期や登熟が遅くなる傾向もあり、収量に結びつかない懸念もあるため、現場の状況を注視してまいります。

○本間会長

それでは、「水稻優良品種「つや姫」を特定品種から基幹品種へ移行することについて」、は、原案どおり、適当であるとしてよろしいでしょうか。（賛同の声）

それでは、「水稻優良品種「つや姫」を特定品種から基幹品種へ移行することについて」は、適当であることといたします。

○本間会長

続きまして、大豆に移ります。報告事項として「令和7年度大豆優良品種決定調査成績」について、事務局から説明願います。

○小高幹事

報告及び審議（2）大豆 イ報告 「令和7年度大豆優良品種決定調査成績」について説明。

○本間会長

それでは、報告事項について御質問・御意見がございましたら、お願いいたします。

○本間会長

現地調査の結果は記載されていますか。

○小高幹事

資料に現地調査の有望度を掲載しています。成績の数字は掲載していません。

○本間会長

数字があると良いと思いますので、今後検討していただければと思います。

○本間会長

系統 F について、海外の品種を導入して注目しているところですが、有望度としてはどうでしょうか。

○小高幹事

子実重は多く、青立ちの程度が小さいという長所がありますが、最下着莢高が低く、百粒重が小さい、粗タンパク質含有率が低いという短所があります。昨年的高温や水不足の影響もあるかと思うので再検討としています。海外の多収系統の遺伝子が入っていることが影響していると考えています。

○石川委員

大豆も高温や渇水など気象状況が関係していると思いますが、品種の選定についてはどう考えていますか。

○小高幹事

本県では大豆の育種をしていないため、近年の高温傾向に対応できるよう、水管理などの栽培面に対応しつつ、育成地に対しては、品種の面でも環境に強い系統を要望し、供試系統を選定していく流れになります。

○大川委員

系統 F は百粒重が小さいので、子実数の多さで収量を確保する傾向ですか。

○小高幹事

そのとおりで、子実数の多さで収量を確保しています。海外品種の遺伝子が入っています。

○大川委員

栽培条件で子実数や百粒重は変化しますか。

○小高幹事

高温や渇水条件では、百粒重が大きくなる傾向にあります。

○守屋副会長

要望される品種（ハ）の区分の系統がないようです。紫斑病に強いという特性で育成地から提供されても、こちらで栽培すると紫斑病がつくことがあったようですが、実需からはどのタイミングでどのように評価されますか。

○小高幹事

紫斑病については系統供試の際に要望を行っています。実需の評価については、本調査 2 年目に

子実を試験研究機関や実需者に提供し、豆乳や豆腐の加工試験を行い評価していただいています。

○本間会長

それでは、ただ今より、審議に入ります。「令和8年度優良品種決定調査に供する品種（大豆）について」、事務局から説明願います。

○小高幹事

報告及び審議（2）大豆 □審議 「令和8年度優良品種決定調査に供する品種（大豆）について」説明。

○本間会長

審議事項について御質問・御意見がございましたら、お願いいたします。

○本間会長

「すずみのり」が優良品種に採用されましたが、今後の見込みとしては「タチナガハ」に代わって伸びていくのでしょうか。

○小高幹事

「すずみのり」は令和4年に優良品種に採用されまして、最下着莢高が高く、また収穫適性が良く、粗タンパク質含有率も高いです。現場段階ではまだ課題もありますが、実需の方から「タチナガハ」のタンパク質含有率の低さや加工の難しさが指摘されているため、「タチナガハ」に代わって「すずみのり」が伸びていくと感じています。令和7年の作付面積も約753ヘクタールと伸びています。

○本間会長

それでは、「令和8年度優良品種決定調査に供する品種（大豆）について」は、原案どおり、適当であるとしてよろしいでしょうか。（賛同の声）

それでは、「令和8年度優良品種決定調査に供する品種（大豆）について」は、適当であることといたします。

以上で諮問事項の審議を終了いたします。

○本間会長

次に答申案をまとめたいと思いますが、いかが取り計らいましょうか。（議長一任の声）

議長一任という声がありますので、答申案を申し上げたいと思います。今回、知事から諮問のあった事項について適当と認める旨答申したいと思いますが、御異議はございませんでしょうか。

（異議なしの声）

それでは、ただいま申し上げたとおり、答申することに決定いたします。具体的な答申内容につきましては、私と事務局に一任いただいでよろしいでしょうか。

（賛同の声）

ありがとうございます。それでは答申文につきまして、私と事務局にて作成させていただきます。

○本間会長

次に、「その他」として、皆様方から何かありますでしょうか。

○高橋委員

水稲の業務用向け品種についてですが、収量確保という点で国が頑張っており、日本全国で対応できるような万能型の品種が求められています。食味を軽く見るわけではありませんが、安定した収量を確保するための改良が必要だと感じます。業務用だと機械にくっつかないなどの要望があると思いますが、具体的なニーズはありますか。

○滝澤幹事

最近では収量だけでなく、加工などの適性も重視されています。これまでの感覚的な食味評価から、機械を使って噛み応えや食感を数値で表すなど、客観的な評価に取り組み始めています。若い方は噛み応えや食感を重視する傾向がありますし、炊飯後の経時変化なども評価項目に入れていきます。

○佐々木副会長

実需者からの業務用米への要望として、冷めてもおいしいなど経時劣化が少ないこと、価格帯に見合う多収性、粒感、型に入れた時のほぐれやすさ、ブレンド適性、歩留まりの良さなどが求められます。その点「ひとめぼれ」はブレンド適性や経時劣化の面で非常に評価が高いため、これを超える品種を作ることは大変だろうと感じています。

○本間会長

消費者にとっておいしいお米を作っていくことは前提ですが、個別ニーズに応じた品種ができていくことが理想かと思います。

○本間会長

以上をもちまして、本日の審査会の議事は終了となりますので、これより進行を事務局にお返ししたいと思います。御審議ありがとうございました。

○事務局（佐藤）

皆様どうもありがとうございました。以上をもちまして、主要農作物品種審査会を終了させていただきます。長時間にわたり御審議いただきありがとうございました。

（午後4時終了）